

教育相談部だより 第6号



引継ぎってなに？

「個別の教育支援計画」を作成・活用しましょう

進級・進学や卒業後の進路に向け、個別懇談会が実施される時期になりました。

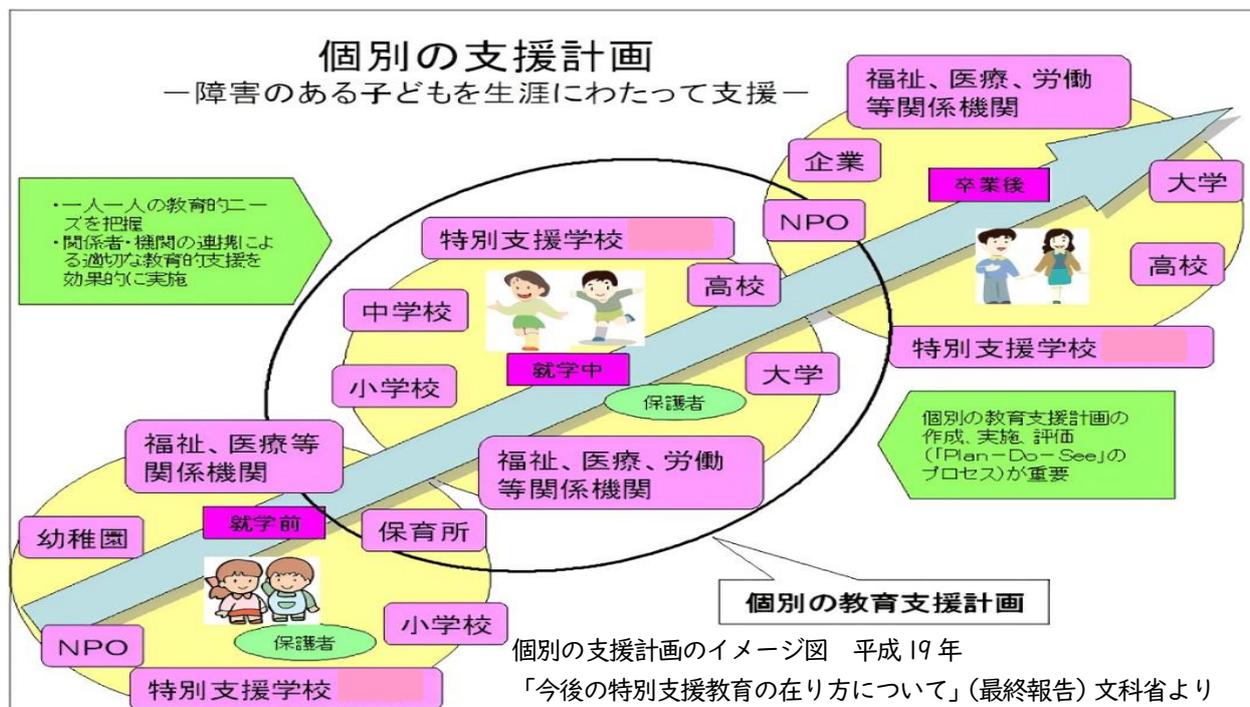
本校では、2月には卒業学年の個別懇談会が行われました。また高等部においては、高等部卒業後の生活に向け、生徒や保護者のニーズを共通理解し、必要な支援とサービスについて、生徒、保護者、学校、関係機関職員が意見交換をする個別移行支援会議が行われました。3月末には在校生の個別懇談会が行われます。

懇談会や個別移行支援会議で話し合った内容は、「個別の教育支援計画」や「個別移行支援画」に表記し、進級先や移行先へと引き継がれます。



Q.なぜ引継ぎ（「個別の教育支援計画」「個別移行支援計画」の作成）をするのでしょうか？

A.子どもにとっては、ちょっとした一言や関わり方の工夫、配慮を行うことで、安心できる学校生活につながります。特に就学、進学、就労時の移行期においては、必要な支援を継続することで、新たな学年・学部（就労先）での初めの一步をスムーズに始めることができます。



個別の支援計画は、幼児期から学校卒業後まで一貫して切れ目のない支援を継続できるように作成されます。学校で作成される「個別の教育支援計画」は、学校（教育）、家庭、福祉、医療、労働等の関係機関との連携において活用されます。

「個別の教育支援計画」「個別移行支援計画」を作成することで

期待される効果 こんな声が聞かれます!



1. 本人に合った適切な支援をすることで…



本人

自分に合った方法を考えてもらったよ。安心してみんなと勉強できるようになったよ。

担任の先生に、今、困っていることや家庭で効果があった支援を聞いてもらい、一緒に目標を立てることができました。これからの子育てに見通しがもてました。



保護者

2. 子供に関わる人たちが連携・協力することで…



本人

放課後等デイサービスでも、学校と同じやり方で手伝ってもらえるので安心!

お医者さんや放課後等デイサービスの方にも、子供の状況や目標が分かりやすく伝わりました。みんなでチームになって支援されているようで、安心です。



放課後等
デイサービスの
スタッフ

目標や方法を共有して、学校と同じように支援することができました。本人は、放課後等デイサービスで生き生きと過ごしています。



保護者

3. 進学する学校に支援を引き継ぐことで…



本人

中学校の教科の時間も、自分に合ったやり方を工夫してもらえるので、落ち着いて学習できます。

入学時から本人に合った対応を工夫してもらえて安心してしています。



小学校の教員

本人の得意なことを生かした支援を積み重ねてきたので、進学先でもこれまでの支援を継続して力を伸ばしてほしいです。

支援情報を引き継ぐことで、本人に合った学習方法などを工夫できました。



保護者



中学校の教員

引用「支援をつなぐ 笑顔をつなぐ 個別の教育支援計画を作成・活用しましょう」 富山県教育委員会

子どもも保護者も教師も安心して4月を迎えられるよう

1年間の成長や課題を引き継ぎましょう!



参考「特別な支援が必要な児童生徒の引継ぎの充実に向けて～切れ目のない支援を実現するために」鹿児島県教育委員会
「特別な支援を必要とする幼児児童生徒の引継ぎ」鳥取県特別支援教育課
「わかる!できる!つかえる!個別の教育支援計画作成・活用マニュアル」富山県教育委員会

電話相談 月曜日～金曜日 9:00～17:00 来校相談 月曜日～金曜日 9:00～17:00

※日程や時間帯は調整させていただきます。
※相談の費用は無料です。相談内容についての秘密は厳守します。

お電話で『教育相談』とお伝えください。TEL:0765-54-1288
教育相談部担当教頭:北島(きたじま)、教育相談部主任:瀬川(せがわ)

